

令和5年7月 広島県地域共生社会推進課

1 広島県地域保健対策協議会におけるACP普及検討・活動について

- 平成25年度 「終末期医療のあり方検討特別委員会」設置
- 平成29年度～在宅医療・介護連携推進専門委員会の「ACP普及促進WGとして活動
- 令和3年度～「ACP普及促進専門委員会」設置

【構成メンバー】

本家好文委員長、広島県医師会、地区医師会、広島大学病院、広島県、広島市等

【主な活動】

- ・県民向けの啓発ツールの作成等
 - 「一般県民向けポスター」、「説明ツール（専門職向け）」、
 - 「ACPの手引き～私の心づもり～」

【広島県地対協HP】

<https://citaikyo.jp/other/acp/index.html>



一般県民向けポスター（令和3年度まで）

2 県の取組 ～ACP普及推進員の養成等

ACPの実践を促進するため、医療・介護等の専門職による、ACP普及推進員を養成

(1) 養成者数：令和2～3年度：183名

医療・介護等の専門職（医師、看護師（訪問看護師等）、介護支援専門員、ケースワーカー、地域包括支援センターの職員等）で市町から推薦があった者

(2) ACP普及推進員の役割・活動

ACP普及推進員の役割を理解し、それぞれの業務の範囲で、普及啓発活動を実施
活動後には「活動報告書」を作成し、推薦市町経由で県に報告

（なお、市町等が実施している既存のACP普及啓発等の取組を阻害するものではなく、ACP普及啓発の促進を行うものです。）



地域のふれあいサロン等、主に高齢者が集まる場で、「ACPの手引き～私の心づもり～」を紹介するなどして、ACPの普及啓発を行う。

(3) 令和4年度の取組

● ACP普及推進員について

令和4年度の県の取組としては、令和5年1月15日に「ACP普及推進員フォローアップ研修」を実施し約90名のACP普及推進員が参加しました。

● 広報について

⇒福祉・介護業界の最新情報を発信する無料の情報誌「Gentle (ジェントル)」(2022年9月号)での広告掲載

⇒市町へ「Gentle」で作成したイラストデータの無償提供

⇒ラジオ番組での啓発

令和4年12月22日(木) RCCラジオ
「本名正憲のおはようラジオ」

令和5年1月11日(水) NHKラジオ
「おはよう中国」



「Gentle (ジェントル)」(2022年9月号)

【参考データ】

ACPの実践状況

(単位: か所, 人, 回)

区分	回答数	ACPの実践について			実践していない
		実践した	人数 (下段: 1施設あたり)	回数 (下段: 1施設あたり)	
病院	97	45 46.4%	77 7.7	128 14.2	52 53.6%
有床診療所	58	32 55.2%	352 17.6	706 47.1	26 44.8%
無床診療所	668	224 33.5%	2,178 13.0	1,707 12.9	444 66.5%
歯科	630	32 5.1%	336 14.6	963 53.5	598 94.9%
薬局	873	57 6.5%	170 4.0	252 7.2	816 93.5%
訪問看護	177	113 63.8%	1,010 11.7	1,634 26.4	64 36.2%
合計	2,503	503 20.1%	4,123 11.8	5,390 19.7	2,000 79.9%

※ 令和4年度広島県調査「在宅医療」の医療連携体制の構築に係る医療機能等の調査

※ パーセント: 施設数/回答数

※ 1施設あたり: 人数と回数の両方を回答し、「不明」と回答した施設を除き算出